



東京都教育委員会では、聴覚障害者の方々が日常生活をより豊かにし、社会参加を促進するために、「社会教養講座」を開催しています。主として聴覚障害者対象ですが、健聴者も受講可能です。また、本講座は手話通訳・字幕付きのオンライン講座（収録映像の配信）になります。

テーマ・講師

配信期間

○人と野生動物の共生は可能なのか？

講師：羽澄 俊裕（元東京農工大学農学府 特任教授）

近年、都内でも野生動物が目撃されるようになり、ニュースでも注意喚起とともに被害の状況が取り上げられ、野生動物と人との関わり方が社会問題となっています。野生動物保護の専門家から話を聞き、現状の原因と今後の有効な対策について考える機会とします。

令和7年
10月24日～
12月24日

◆ 実施方法

オンラインによる配信（2カ月間YouTube限定公開）

※詳しい内容は東京都教育委員会HPに掲載

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/seminor_guide.html

◆ 申込方法

以下のURLから申込ください。

申込み確認後、公開日までに受講用URLをお送りします。

※受講後、簡単なアンケートにご協力をお願いします。

※URLは、受講手続きをされた方のみにBCCでお送りします。

※メール受信設定、視聴環境は各自で御確認をお願いします。

※希望するテーマごとに申込む必要はありません。

URL：<https://logoform.jp/f/KqFdI>



【記入事項】

1. 氏名（ふりがな）

2. メールアドレス

※メール申込の場合件名は「聴覚障害者教養講座 参加申込」と書いてください。

○日本古来の木造建築の歩み

講師：芹澤 毅（大工棟梁）

伝統的な神社仏閣は木と木をつなぎ合わせる木組みという技法で建てられています。数多くの伝統建築に携わっている専門家から、語り継がれる日本の伝統的な建築技術を学ぶ機会とします。

令和7年
11月7日～
令和8年
1月7日

○アウトドアで防災術～防災は日常から～

講師：越智 大輔（東京都聴覚障害者連盟 事務局長）

台風や集中豪雨など、年々自然災害は激しさを増しています。減災対策には日頃からの準備が重要です。アウトドアの知識の活用と備蓄アイテムの工夫などで命を守るためにできる実践的な備えを学ぶ機会とします。

令和7年
11月21日～
令和8年
1月21日

○「使える」に視点を置いたまちづくり

講師：川内 美彦（東洋大学人間科学総合研究所 客員研究員）

ユニバーサルデザインやバリアフリーを意識したまちづくりは特に1990年代から取り組まれてきました。「障害の社会モデル」という考え方や合理的配慮に基づいた聴覚障害がある人が暮らしやすいまちづくりの工夫について学ぶ機会とします。

令和7年
12月5日～
令和8年
2月5日

○骨格筋について

講師：町田 修一（順天堂大学 大学院スポーツ健康科学研究科 教授）

私たち人間の筋肉にはいくつかの種類があります。自分の意思で動かすことができる骨格筋の仕組みや目的に合った筋肉への負荷の掛け方などを学び、いつまでも健康で自立できる体づくりに役立てる知識を学ぶ機会とします。

令和7年
12月19日～
令和8年
2月19日

問合せ先

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課（障害者教養講座担当）メール：ml-sy-kyoyokoza@section.metro.tokyo.jp

電話：03-5320-6859